

めぶき東アジアレポート

MEBUKI EAST ASIA REPORT

2026 年 No.3

上海通信

～中国における車載用電池産業の現在地～

東アジア駐在員コラム

～天后誕～

ニューストピックス

～レジで手をかざすだけの『手のひら決済』～

ニュース一覧



常陽銀行



足利銀行

MEBUKI
めぶきフィナンシャルグループ

上海通信

～中国における車載用電池産業の現在地～

- 近年、中国では新エネルギー車の増加を背景に車載用電池産業に大きな注目が集まっています。
- 今回は、中国における車載用電池産業の現況についてレポートします。

図1 上海の街角の充電ステーション



図2 注目を集めるBYDの急速充電の展示



※いずれの写真も筆者撮影

新エネルギー車の販売急増

近年、中国では新エネルギー車（NEV）の販売台数が急速に増加しています。2025年の販売台数は1,649万台と、前年より28%増加しました。中国の自動車全体の販売台数は3,440万台であることから、販売される自動車の約半数がNEVとなっています（表1）。

NEVの販売増加に伴い、その中核部品である車載用電池の需要も拡大しています。電池容量は車種によっても異なりますが、航続距離や性能を左右する重要な部品であり、NEV産業の発展を支える基盤となっています。

主流はリチウムイオン電池

車載用電池と一口に言っても、様々な種類がありますが、その中でも現在主流となっているのがリチウムイオン電池です。

リチウムイオン電池は、リチウ

ムイオンという粒子が電池の中を移動することで、電気を生み出し貯めることができる電池です。

リチウムイオン電池はその大きさに対して貯められる電気の量が多く、自動車の他にも、小型化や軽量化が求められるスマートフォンやノートパソコン等、身の回りの多くの製品に使用されています。

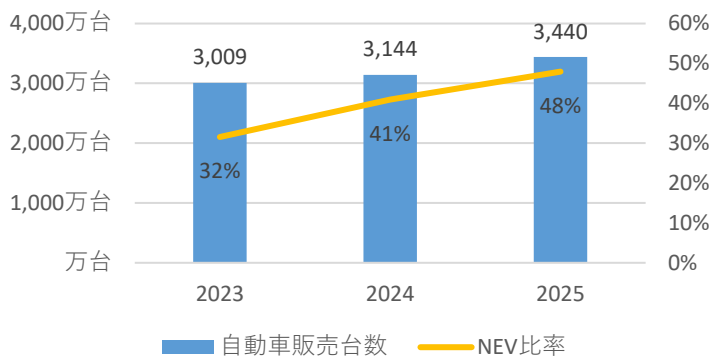
中国のリチウムイオン電池産業は世界最大の規模を誇ります。中国工業情報化部によれば、中国のリチウムイオン電池の総生産量は右肩上がりであり（表2）、2024年の1,170GWhは世界のリチウムイオン電池生産量の半数以上にあたります。

電池産業に係る政府方針

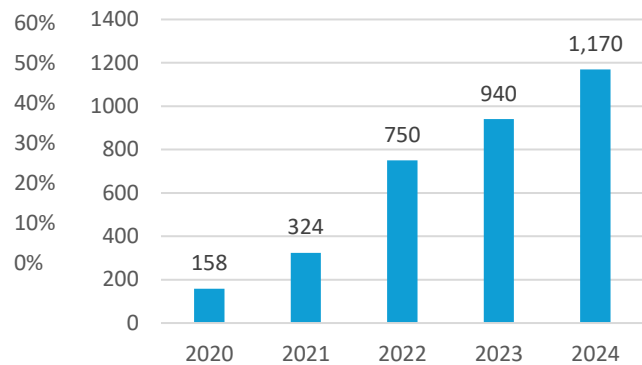
中国においてNEVがこれほどまでに普及した要因の一つに、政府による力強い支援があります。2014年から2025年にかけて、本

来10%かかる自動車購入税をNEVに限り免除することで購入を後押ししました。2026年には免除から減税に変更され、5%の購入税が課されることになったものの、支援は継続されています。また、政府が中心となり充電ステーションなどのインフラ整備を強化したこともNEVの普及を支えました。

2026年から2030年までの中国の経済発展計画である第15次五カ年計画では、NEVや新型電池産業が戦略的振興産業として育成される方針が示されており、車載用電池産業は今後も重要な分野と位置付けられています。一方、同計画では、これまでの過剰投資によるコスト競争、いわゆる「内巻式（うちまきしき）」を是正する方針も示されています。これは、今後の政策の重点が単純な生産量の拡大から、品質や収益性、技術力を重視する

(表 1) 中国における自動車販売台数と
NEV 比率の推移

※中国汽車工業協会から筆者作成

(表 2) 中国におけるリチウムイオン電池
の総生産量の推移 (単位:GWh)

※中国工業情報化部から筆者作成

方向へ移りつつあることを意味しています。

中国の主要な車載用電池メーカー

中国の車載用電池産業では、CATL や BYD といった有力メーカーが大きな役割を担っています。両社は車載用電池市場で高いシェアを持ち、その事業展開や技術開発の動向に世界中から注目が集まっています。

(1) CATL (寧徳時代新能源科技)

2011 年に創業した比較的新しい会社ですが、現在は世界シェアトップ (38%) を誇ります。年内にナトリウム電池 (※後述) の本格量産開始を目指しています。

(2) BYD (比亞迪)

現在は自動車メーカーとして有名ですが、もともとは電池のメーカーとしてスタートしました。2003 年に自動車事業へ参入し、電気自動車 (EV) で存在感を高めました。車載用電池の世界シェア 2 位 (16%) で、電池から車両まで自社で手掛ける垂直統合型の事業モデルを強みとしています。

今後の車載用電池の進化

NEV で使用される電池はこれまで、いかに航続距離を延ばすか

に力を注がれてきましたが、現在は安全性や低温性能、長寿命化といった側面がより重視されるようになっていきます。それに伴い、中国では次世代の電池の研究開発が進められています。

(1) リン酸鉄リチウム電池 (LFP)

リチウムイオン電池は内部に用いられる材料によって様々な種類があります。リン酸鉄リチウムイオン電池はその一種で、リン酸鉄を用いることで従来のリチウムイオン電池よりも安全性が高いのが特徴です。

(2) ナトリウムイオン電池

自然界に豊富にあるナトリウムイオンを用いた電池で、熱暴走が起きにくく、寒さに強いことから寒冷地での活用にも期待されています。ただし、貯められる電気の量が少ないことがデメリットです。

(3) 全固体電池

従来のリチウムイオン電池の中には電解液という液体が入っていますが、全固体電池はその代わりに固体の電解質が用いられています。従来の電池よりも安全性が高く、更に貯められるエネルギーも大きいというメリットがあります。

が、量産化への技術的なハードルが課題となっています。

(4) 半固体電池

半固体電池は液体と固体を用いた電池で、現在主流のリチウムイオン電池から全固体電池に移行するまでの間の繋ぎとしての役割を期待されています。年内に中国の複数の企業が量産開始予定です。

まとめ

中国の車載用電池産業は、政府の支援や有力企業の存在を支えとした NEV の急速な普及を背景に、世界最大規模へと発展しました。今後は、量による成長から、品質や収益性、技術力に重点を置いた成長へ舵を切ることで、世界における地位の維持・拡大を図るものと考えられます。

引き続き、中国における車載用電池産業の動向に注目してまいります。

常陽銀行上海駐在員事務所

前崎 正太郎

東アジア駐在員コラム

～天后誕～

皆さんは「天后（ティンハウ）」をご存知でしょうか？

「天后」は宋代に福建で生まれた女性で、海上の安全を守る女神として信仰されました。日本では媽祖（まそ）と呼び名を変え、漁業が盛んな地域に伝わりました。

この天后、すなわち媽祖は、実在の女性である林默（リンモー）に由来すると伝えられています。幼い頃から聡明で思いやりにあふれ、海で遭難する人々を祈りによって救ったという逸話が各地に残っています。若くして亡くなった後も人々の信仰は途絶えず、やがて「海のお母さん」とも呼ばれる存在として、多くの人々に寄り添い続けてきました。

香港において天后信仰は特に身近です。漁業や海運とともに発展

してきたこの土地では、海の安全を願う気持ちが生活の一部として根付き、毎年旧暦3月23日の天后誕には各地で盛大な祭礼が行われます。

先週、私が訪れた元朗の「天后誕（ティンハウダン）」もそのひとつです。1963年から続く伝統行事で、現在では国家級無形文化遺産にも認定されています。30を超えるチームが参加し、全長38メートルの金色の龍が街を舞い、色鮮やかな花炮や躍動感あふれる獅子舞が続きます。幼い子どもたちによる愛らしい演技や、夜には光をまとって踊る「夜光英歌舞（やこうえいかぶ）」など、多彩な演目が訪れる人々を魅了していました。沿道では観客が龍や獅子に手を伸ばし、幸運を分けてもらおうとします。

また、村ごとに準備された花炮（ファーパウ）や演舞は、地域の結束と誇りを象徴するものでもあります。大人も子どもも一体となって参加する姿からは、伝統がしっかりと次の世代へ受け継がれていることが伝わってきます。

天后誕は単なる観光行事ではなく、人と人をつなぎ、地域の心を育む大切な時間なのです。

天后という存在は、今も変わらず、静かに人々の生活を見守り続けているように感じられました。

皆さんも香港にお越しの際には各地にある天后廟（ティンハウミョウ）を訪れて中華圏の歴史に触れてみてはいかがでしょうか。

足利銀行香港駐在員事務所

現地スタッフ 温秋芳

<龍舞>



<パレード>



<龍舞>



<見物客>



ニューストピックス

～中国でじんわり浸透中。レジで手をかざすだけの『手のひら決済』～

スマホも財布もいらない。レジで手をかざすだけ。そんな決済方法が、中国ではすでに始まっています。サービス名は「微信刷掌（WeChat Palm Pay）」といいます。中国で生活に欠かせないアプリ「WeChat（微信）」が提供する決済サービスです。2023年5月に北京の地下鉄でサービスが始まり、上海を含む全国30以上の都市へじんわりと中国国内に広がってきました。

仕組みはとてもシンプルで、レジにある専用の端末に手のひらをかざすだけです。スマホを出して操作する必要もないので非常に便利だと感じます。

端末が読み取るのは、私たちの手のひらの表面にあるシワの模様

と、皮膚の下に隠れた静脈のパターンです。体内の情報を使うため、指紋よりも偽造が難しく、セキュリティ面で安心な上、端末に触れる必要がないので、衛生的とされています。

「それなら、中国に行けばどこでも使えるの？」という、実はまだそうではありません。現在は、一部のコンビニ、空港、そして幾つかの大学構内など、対応端末を導入した特定のスポットが中心です。街ゆく人に聞いても「まだ使ったことない」という答えが大半で、まだまだ「見つけたらラッキー」という段階です。

それでも、中国の生体認証決済市場は2032年に約5億ドル規模になるとの予測もあり、市場の成

長が見込まれています。普及率はまだまだですが、2次元コード決済がここまで広がった中国のことで、その「次」のインフラとして、人々の生活に溶け込む日はそう遠くないかもしれません。

常陽銀行上海駐在員事務所
小平 浩史



手のひら決済の端末（筆者撮影）

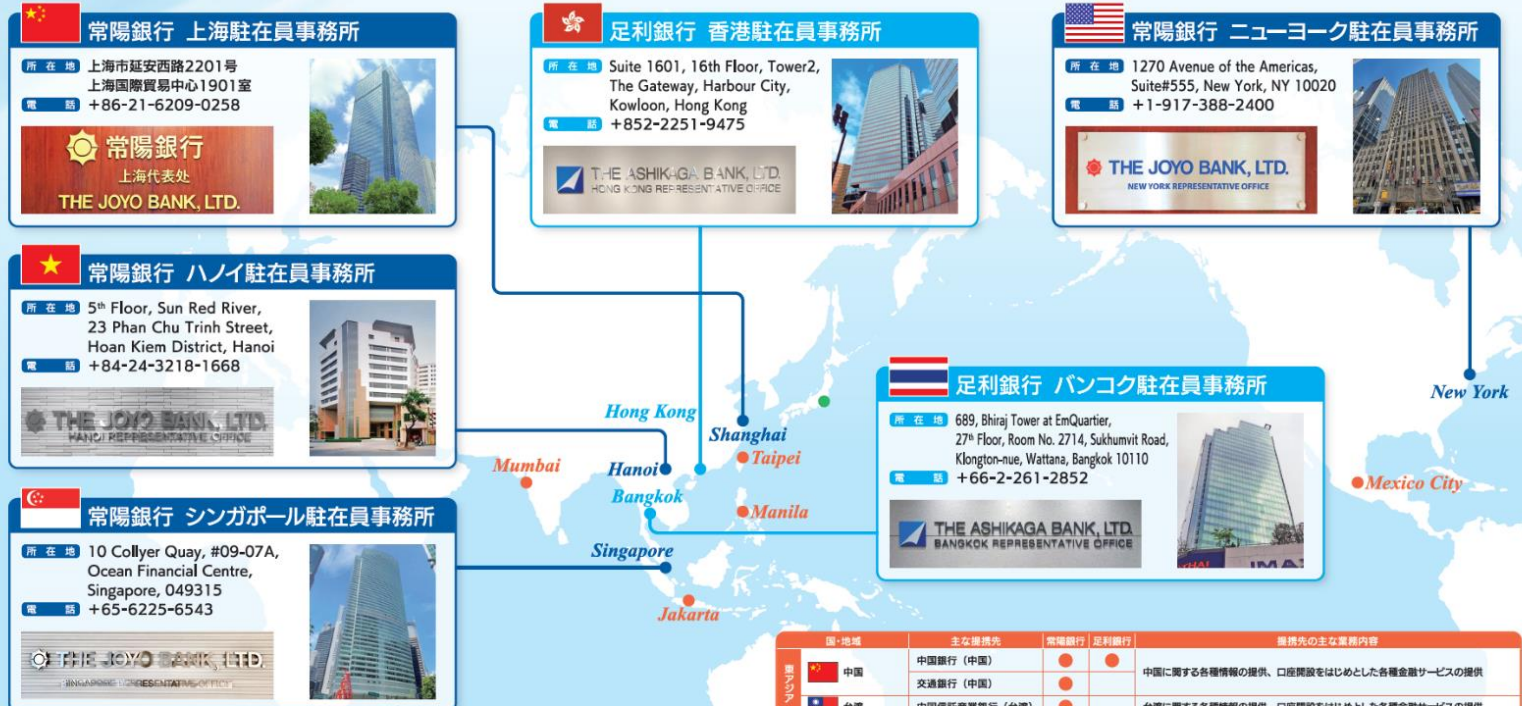
ニュース一覧

- ・稼働開始の上海沖海底DC、冷却水消費「ゼロ」実現(5/19)
 - ・上海がAIで製造業刷新、5カ年計画で人型ロボ10万台投入(5/20)
 - ・人型ロボ量産加速、家庭や製造現場へ浸透(5/22)
 - ・蘇州で投資誘致大会、グローバル企業が事業拡大を表明(5/26)
 - ・中国の高齢者介護ロボ市場、26年は100億元突破へ(5/27)
 - ・ガソリン車の値下げ加速、NEV普及が下落圧力に(5/28)
 - ・AIグラス発売相次ぐ、普及は27年以降か(6/1)
 - ・宇樹科技がアジア初の体験型店舗、上海で展示・販売強化(6/2)
 - ・海水淡水化能力が日量300万t超え、1500万人の水需要満たす(6/3)
 - ・宇樹科技の二足歩行ロボ、累計生産1万台超え(6/4)
 - ・北京に「AI信号機」設置、渋滞指数19%低下(6/5)
 - ・BMIで失明患者の視覚再建、中国初の臨床試験が成功(6/9)
 - ・世界最大の27.1万立方米LNGタンカー、上海で建造開始(6/10)
 - ・中朝首脳が会談、「朝鮮半島非核化」言及なし(6/10)
 - ・今後5年で「5G-A基地局」50万カ所整備、2030年には6G商用化へ(6/11)
- [出所：亜州ビジネス China]

MEBUKI の海外ネットワーク

めぶきフィナンシャルグループ

めぶきフィナンシャルグループでは、お客さまの海外ビジネスをサポートさせていただきます。
常陽銀行、足利銀行の海外ネットワークをぜひご活用ください。



主な提携先	常陽銀行	足利銀行	提携先の主な業務内容
● 日本貿易振興機構 (JETRO)	●	●	海外事業展開に関する各種情報提供・各国制度等の情報提供
● 国際協力機構 (JICA)	●	●	途上国での海外事業展開に関する各種情報提供・各国制度等の情報提供
● 国際協力銀行 (JBIC)	●	●	海外展開支援融資の提供
● 日本貿易保険 (NEXI)	●	●	輸出入取引を行う際の海外取引リスクに備える各種貿易保険の提供
● 中小企業基盤整備機構	●	●	海外事業展開に関する各種情報提供・各国制度等の情報提供
● 東京海上日動火災保険	●	●	海外リスク情報等の提供、リスクマネジメントコンサルティングサービスの提供、各種損害保険の提供
● 損害保険ジャパン	●	●	海外リスク情報等の提供、リスクマネジメントコンサルティングサービスの提供、各種損害保険の提供
● 三井住友海上火災保険	●	●	海外での安全システム・防犯機器商品の提供、海外セキュリティサービスの提供
● セコム	●	●	海外での安全システム・防犯機器商品の提供、海外セキュリティサービスの提供
● 総合警備保障	●	●	海外での安全システム・防犯機器商品の提供、海外セキュリティサービスの提供

国・地域	主な提携先	常陽銀行	足利銀行	提携先の主な業務内容
東アジア	● 中国	中国銀行 (中国)	●	中国に関する各種情報の提供、口座開設をはじめとした各種金融サービスの提供
	● 台湾	交通銀行 (中国)	●	台湾に関する各種情報の提供、口座開設をはじめとした各種金融サービスの提供
	● タイ	中国信託商業銀行 (台湾)	●	タイに関する各種情報の提供、口座開設をはじめとした各種金融サービスの提供
	● インドネシア	カシコン銀行	●	インドネシアに関する各種情報の提供、口座開設をはじめとした各種金融サービスの提供
	● ベトナム	バンコク銀行	●	ベトナムに関する各種情報の提供、口座開設をはじめとした各種金融サービスの提供
東南アジア	● フィリピン	バンクネガラインドネシア	●	フィリピンに関する各種情報の提供、口座開設をはじめとした各種金融サービスの提供
	● インド	CIMB アガ銀行	●	インドに関する各種情報の提供、口座開設をはじめとした各種金融サービスの提供
	● メキシコ	ワイエティンバンク	●	メキシコに関する各種情報の提供、口座開設をはじめとした各種金融サービスの提供
	● 中南米	ベトナム外資投資行	●	中南米に関する各種情報の提供、口座開設をはじめとした各種金融サービスの提供
	● 南米	パナメックス	●	南米に関する各種情報の提供、口座開設をはじめとした各種金融サービスの提供
	● 南米	インドステイト銀行	●	南米に関する各種情報の提供、口座開設をはじめとした各種金融サービスの提供
	● 南米	アグアスカリエンテス州政府、パリスコ州政府ほか	●	南米に関する各種情報の提供、口座開設をはじめとした各種金融サービスの提供

Disclaimer

本レポートの内容につきましては、当行の信頼し得る先からの情報に基づいて作成しておりますが、その正確性、信頼性を保証するものではありません。具体的に法律上、会計上、税務上の助言を必要とされる場合は、それぞれの専門家にご相談ください。ようよろしくお願いいたします。

発行元：常陽銀行市場国際部

常陽銀行上海駐在員事務所

上海市長寧区延安西路 2201 号 上海国際貿易中心 1901 室

TEL : +86-21-6209-0258

E-mail : joyosh@uninet.org

足利銀行香港駐在員事務所

Suite 1601, 16/F, Tower 2 The Gateway Harbour City, Tsim Sha Tsui, Kowloon, HK

TEL : +852-2251-9475

E-mail : hongkongrep@ashikagabk.com.hk